

令和 2 年 12 月 11 日

指定管理者の指定について

(練馬区立平和台児童館および練馬区立平和台児童館学童クラブ)

1 内容

地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定に基づき、練馬区立平和台児童館および練馬区立平和台児童館学童クラブ(以下「平和台児童館等」という。)の指定管理者をつぎのとおり指定する。

2 指定管理者

東京都千代田区四番町2番地12

公益財団法人 児童育成協会

理事長 鈴木 一 光

3 指定の期間

令和3年4月1日から令和8年3月31日まで(5年間)

4 選定の経過

令和2年4月16日

第1回指定管理者選定小委員会

(業務の範囲、利用料金制の採否、選定の対象とする団体、団体を特定する理由、評価項目・評価基準、指定の期間の審議)

(モニタリングチェックシートに基づく最終総合評価)

5月19日

令和2年度第1回指定管理者選定委員会

(業務の範囲、利用料金制の採否、選定の対象とする団体、団体を特定する理由、評価項目・評価基準、指定の期間の審議結果の報告)

(モニタリングチェックシートに基づく最終総合評価)

(現在の指定管理者を次期の指定管理者の選定対象団体と

	して特定)
6月26日	第2回指定管理者選定小委員会 (企画提案書作成要項の審議)
7月1日	企画提案書作成要項配付・説明(団体を特定して実施)
7月27日	申請書類受付(経営状況に関する部分)
7月29日	経営診断委託
8月3日	申請書類受付(事業計画に関する部分)
8月7日	施設実地調査
8月27日	第3回指定管理者選定小委員会 (プレゼンテーションおよびヒアリングの実施) (申請団体の評価、採点)
11月9日	令和2年度第2回指定管理者選定委員会 (申請団体の審査、指定管理者候補の決定)
12月11日	令和2年第四回練馬区議会定例会 (指定管理者指定議案議決)

5 選定の理由

選定に当たっては、申請団体の企画提案書、プレゼンテーションの内容、施設実地調査、経営診断結果その他提出書類等をもとに評価した結果、これまでの運営実績から引き続き適切な運営・管理が期待できること、また、野外活動を実施し、環境教育に加え社会性の発達につなげていること等の理由により、公益財団法人児童育成協会が平和台児童館等を運営するにふさわしいと判断した。評価項目ごとの評価内容(主な提案の内容、評価した点等)はつぎのとおりである。(審査結果は、別表のとおり)

なお、指定管理者選定委員会および指定管理者選定小委員会では、有識者委員を加えて評価を行った。

【団体審査】

安定性・継続性

当団体は借入金に頼らずに運営されており、十分な資金を有し資金面では安定している。また、国の補助金交付事業を受託しているため自主的運営努力の評価が低い、これを除けば自主的運営努力が十分になされており、全体としては安定した経営状態

である。

当該施設の運営実績

個人情報保護、情報セキュリティおよび情報公開に関する規程を整備し、適正に運用している。個人情報の取扱いに関する事故の発生事例はなく、適正な事務処理が行われている。

労働関係法令に基づき、給与規程、就業規則等を定め、適正に運用している。また、理事会・役員会の構成は適正であり、理事会・役員会は定期的開催されている。

職員の経験年数などを考慮して、初任者、初級、中級、施設長研修を実施し、職員の育成を行っている。

利用者への対応については、待遇マニュアルに沿って、適切かつ迅速に対応できる体制を整備している。

【提案審査】

施設運営体制

人材育成に関しては、職員の質の向上のため経験年数等を考慮して研修を実施するほか、専門技術に関する研修は中期計画を立てて外部研修に参加させ、ほかの職員に伝達する提案があり、評価できる。

改正後の児童館ガイドラインに則り、子どもの発達の特徴や過程を職員間での共通理解として、子どもたち一人ひとりの対応に努める提案があり、評価できる。

児童館内の換気と消毒タイムを設け、来館時に手指の消毒や手洗いをを行うよう動線を変更する等の提案がある。また、おやつや学習場所を分け、三密を避ける提案がある。これらの提案は、新型コロナウイルスの感染防止対策として評価できる。

運営経験を生かした取組

指定管理児童館が日曜日も開館していることを生かし、父親が気兼ねなく来館できるための日頃からの取組および父親向けのプログラムを行う提案がある。父親の来館が促進されることで、育児に対する自信につながるとともに、父親同士のつながりができることも期待できる。また、母親のリフレッシュ時間も増加したという声も寄せられており、特に評価できる。

国立総合児童センター「こどもの城」の運営を行った経験を生かし、家族向けのプログラムを継続して行う提案がある。幼児から大人まで楽しめるコンサートや子どものヘアアレンジ講座等、利用者の提案で実現できたプログラムもあり、今後も利用者

の「やりたい」という気持ちを汲み取り、プログラムを実施するとしている。また、日頃から利用者との関係を深めることで、家庭環境等に悩みを抱えている利用者を見逃さず、寄り添った対応を行っている。さらに、必要に応じて関係機関と連携し、利用者の不安や悩みの解決につなげる提案があり、特に評価できる。

ファミリーキャンプ等の野外活動を継続して実施し、環境教育に加え、社会性の発達につなげるほか、中高生スタッフの受入れも行う提案がある。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりファミリーキャンプは中止となったが、今後、感染拡大防止の対策を講じながらコロナ禍でも開催できるウォークラリーや野外炊事等の行事も検討している。野外活動の実施は、自然と触れ合う遊びなどを通して家族同士の交流の場を提供するだけでなく、中高生スタッフにとっても社会へ出ていく小さな一歩となる新鮮な体験となるため、特に評価できる。

施設の維持管理・安全性への配慮

日常的な安全対策として、法人の「安全管理・危機管理マニュアル」に基づき、施設内の安全点検を実施する提案があり、評価できる。

事故防止に関して、リスクとハザードを分別した上で徹底的にハザードを撤去する提案があり、評価できる。

効率的な管理運営

職員配置についてはシフト制を採用し、学童クラブの送迎や児童館での清掃・消毒の時間帯は必要に応じて加配し、効率化を図る提案があり、評価できる。

公認会計士の指導のもと、法人本部の財政管理能力を生かした安定的な管理運営を行う提案があり、評価できる。

施設特性に応じた評価項目

児童館と学童クラブの職員間の情報共有や協力を行い、更なる子どもの理解につなげ、また、学童クラブで学年ごとや活動ごとに場所を分けたいときは、児童館を利用し、スムーズな保育を行うなど、一体的な施設運営を行う提案がある。

学童クラブ職員に欠員が出た場合、児童館職員がサポートを行う提案がある。

これらの提案は、いずれも区が期待する施設特性に合致した提案であり、評価できる。

地域への貢献

職員の採用に当たり、地域限定の募集広告を出し区民雇用を積極的に行うとともに、

館内の整備や修繕に伴う作業や物品の調達についても区内事業者を利用する提案があり、評価できる。

職員が町会の会合への出席や、集会所の清掃等に引き続き積極的に参加し、地域に関わる機会を増やす提案があり、評価できる。

別表

指定管理者（公益財団法人児童育成協会）選定の審査結果（練馬区立平和台児童館等）

	評価項目	評価基準	配点	得点
団体 審査	1 安定性・継続性	補助金、委託費のみに頼らない自主的運営努力の有無 事業効率の状況 資金力の有無 借入金の返済能力の有無 経営の安全性	5点	3点
	2 当該施設の運営実績	当該施設の状況および施設での取組内容・取組の成果 利用者等への対応	15点	12点
提案 審査	3 施設運営体制	施設の設置目的・現状を踏まえた管理・運営の基本的な考え方 現在のサービス水準の維持および向上のための提案内容 利用者ニーズの把握とニーズを反映させるための取組 職員に対する教育、研修体制	50点	40点
	4 運営経験を生かした取組	当該施設の指定管理者として培ったノウハウを生かした今後の取組	40点	40点
	5 施設の維持管理・安全性への配慮	日常的な点検体制 災害その他緊急時の危機管理体制 管理上の不具合や問題の区への報告体制	20点	16点
	6 効率的な管理運営	効率的な人員配置 再委託の範囲の妥当性 事業計画と収支計画の妥当性 その他効率的・効果的な施設運営に係る提案 提案金額の妥当性	20点	16点
	7 施設特性に応じた評価項目	一体的な施設運営に向けた事業内容の提案	20点	16点
	8 地域への貢献	区民雇用の促進（非常勤・臨時職員を含む。） 再委託における区内事業者の活用・物品の区内事業者からの調達 地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携の推進	30点	24点
合 計			200点	167点